

先日ご案内いたしました通り、12/17（金）5/6時間目に「探究への支援をお願いする発表会」を行います。第2クォーター末に行った発表会とは違い、今回は自分が何を探究し、何を調査しているのかだけでなく、何に困っているかについても発表いたします。子どもたちの困っていることを聞いていただき、支援が可能であれば是非ともご協力の方お願いいたします。

また12/21（火）5/6時間目はプロジェクトの学習発表会と学級懇談会です。学習発表会では、現在取り組んでいる micro:bit プロジェクトを中心に子どもたちが発表いたします。どんな生活の課題について取り上げ、どんな方法で解決しようと試みるのか。またこれから SOLAN を引っ張っていく最高学年として、どのような発表を見せるのか。是非ともご覧いただき、アドバイスをお願いいたします。

プロジェクト ~第3クォーターmicro:bit プロジェクト~

先々週からグループに分かれ調べてきた micro:bit のセンサーについて、先週は発表やふりかえりを行い、それぞれのセンサーが何に反応し、それがどういった物に活かすことができるのかについて話し合いました。子どもたちは自分の担当のセンサーはもちろん、それ以外のセンサーについても積極的に意見を出し、micro:bit の特徴への理解を深めていきました。

また最後はプログラミングや micro:bit の評価（Plus/良い、Minus/苦手）とプログラミングをする上で、意識することをまとめました。しっかりと特徴についておさえることができたため、この理解をもって生活課題をもとにプログラミングを始めてまいります。

Plus/良い・得意	Minus/苦手	意識すること
<ul style="list-style-type: none">・指示・人助け・反応・言われた通り	<ul style="list-style-type: none">・自分で考える・落下・水・衝撃・言われた通り	<ul style="list-style-type: none">・見直す（確認、直す）・プラスに使う・正しく伝える・分かるように伝える (動くように指示を分ける)

国語 ~ごんぎつね~

現在、国語の時間に有名な物語である「ごんぎつね」について、話し合いをもとに選ばれた問いについて調べています。「秋といってもいつなのか」「きつねの特徴」「服装や住まい」「表現されている音」「出てくる色」「実際に住んでいた場所」「鰻の食べ方」の7つのテーマに分かれ、物語に書かれていることを抜き出し、それを元に書籍等を調べ、それを根拠として自分たちの考えを導き出していきました。複数の情報を組み合わせることで時代背景を特定したり、条件の違うものを外し徐々に絞っていきながら狐の種類を特定したりと、事実に触れるため一生懸命調べました。

先週は、各グループで成果物となる Pages をまとめたり、また自分たちの考えたことを絵、模型、色や音などさまざまな方法で再現したりしました。国語を担当している三宅先生だけでなく、司書の吉賀先生も毎回授業に参加し、一緒に調べたり考えが深まるよう質問を投げかけたりしながら進めています。国語の物語をこういった形で探究的に進めることはかなり珍しいので、私自身も楽しく、また子どもたちも授業開始を待たず自分たちで活動を開始するほど、熱中している様子が見られます。どんな成果物ができあがるか、非常に楽しみです！

写真は国語の授業でごんぎつねについて、グループに分かれて創作活動に励んでいる様子です。